

第102回 大江戸探索会に参加して

令和4年12月11日(日): 街路樹も葉を落とし、冬景色に変わり、本年も残す日も少なくなり、1年を振り返る時期となりました。今年1年間の健康に感謝し、今年の疲れを癒し、来年の糧とするために今回の大江戸探索会イベントに参加しました。地方から東京へ、あるいは海外から来た人のための代名詞「はとバス」、東京の観光定番スポット、浅草散策と東京スカイツリーの展望がセットになったコースです。東京在住約50年、何をいまさらという思いがありましたが実際に参加してみたら、なかなか想像以上に楽しめたイベントでした。



ー コース概要 ー

- 出発時間：10:50 集合/ 11:00 出発
- 集合場所：東京駅丸の内南口 はとバスのり場
- コース時間：約5時間 浅草「米久」→浅草観音と仲見世→東京スカイツリー展望回廊と展望デッキ（地上450mの空中散歩&地上250mからの展望→歌舞伎座＝銀座
- 解散時間：16:30
- 解散場所：東京駅丸の内南口
- 参加人数 20名——大江戸探索会20名（バスには他の観光客もあり、総勢44名）

バスが走り出すと、ガイドさんがマイクで車窓を案内してくれます。車内は基本的に、座席指定。乗車前の検温や消毒、乗車中のマスクの着用、感染防止対策も万全です。定刻どおりに、最初の目的地・浅草に向けて発車し、見慣れた風景でも第三者から説明を聞くと新鮮に感じまわたく飽きることがありません。

最初の目的地、明治時代からの伝統・格式の雰囲気のある老舗、浅草「米久本店」での昼食。「牛鍋」は牛肉が美しく盛られ、牛肉はまったくクセもスジもなし。なかなか美味しかったのが漬物です。最初の目的地で今日1日を十分堪能した気分になります。

食後は自由時間となり、日本を代表する観光地、浅草寺境内・浅草の観音様・浅草寺の表参道である仲見世商店街を散策。

毎年、春に墨田川河岸の花見をした際に浅草寺を参拝しておりますが、コロナ禍ということでいつもより少ないと聞きましたが、さすが東京の観光地浅草、観光客、参拝者で賑わいを見せていました。浅草に住んでいるという斉藤さんに同行していただき、昔賑やかであったという映画館跡地の通りに面する演芸場、歓楽場等を案内していただき、更に雷門、仲見世通り、浅草寺、浅草神社にまつわる蘊蓄にある話を話していただき有意義な時間を過ごすことが出来ました。



次にバスに乗ってスカイツリーへ移動。地上 350m の「東京スカイツリー天望デッキ」は、5m を超える大型のガラスを 360 度に配置し、タワーの足元から約 70km 先まで見ることができる開放的な造り。地上 350m からの東京の景色は圧巻でした。

さらに 100m 上った地上 450m の「東京スカイツリー天望回廊」では、ガラス張りの回廊が続き、まるで空中を散歩しているような感覚を味わいます。ガラス張りの回廊から見る景色は、天望デッキとはまた異なる美しさです。スカイツリーは 2012 年 5 月 22 日にグランドオープン。地上デジタル放送などの電波を送信する世界一高い自立式電波塔として建設。床がガラスになって地上が見えるところは高所恐怖症でない私ですが足が竦みました。



下に降りて、販売店にて土産探し。
最後は銀座経由で解散場所の東京駅へ向かう。

東京駅までの道中は、バスガイドさんが車窓から見える景色を細かく案内。対象物の横をバスが通り過ぎるわずかな時間で、いろいろと情報を教えてくれるので、まったく飽きることがありません。車窓から銀座の歌舞伎座、銀河プラザ、赤レンガ造りの東京駅。いつも見る気色も新鮮です。到着前にガイドさんの挨拶があり終了しました。個人では 1 日で移動することのない場所、江戸を代表する観光スポット浅草、東京の代表的なランドマークとなった東京スカイツリーを効率的にまわる事が出来ました。特に、スカイツリーに上がるには混み合うとのことで敬遠していましたがスムーズに上にあがる事が出来たのが非常によかったと思っています。このツアーいや大江戸探索会イベントを体験して、またいつか同じような企画があれば参加しようとも思いました。



(菊池 潤記)